

早くも予約満杯！「親子で泊まって、学んで、自由研究！」 夏休み限定・モデルハウス宿泊×学び体験イベント開催 ～モデルハウス宿泊体験×家作りの仕事を学ぶ特別プログラム（参加無料・完全予約制）～

新昭和グループの注文住宅ブランド「ウィザースホーム」を手掛ける株式会社ウィザースホーム（本社:千葉県千葉市中央区、代表取締役:神崎 智、以下「ウィザースホーム」）は、2025 年 7 月 24 日（木）より、実際のモデルハウスに宿泊し、住まいの性能や快適性を親子で体験できる「宿泊体験イベント」を開催いたします。本イベントは、単なる「宿泊体験」にとどまらず、小学生のお子さまとご家族を対象に、家づくりの裏側やプロの仕事を学び、夏休みの自由研究や将来の仕事への関心につなげる「学びの時間」をご用意、住まいの快適性を体感しながら、親子で“ものづくり”や“建築のプロの視点”に触れられる特別なプログラムです。参加は完全予約制・無料で、夏休みの貴重な思い出づくりにも最適な機会となっております。なお、ホームページ公開からわずか2日で、全ての予約枠が埋まるほどの反響をいただいております。



■社会的背景と企画の意義

近年、子どもたちの「探究心」や「仕事観の育成」の重要性が教育現場でも求められる中で、家庭では「リアルな学びの場」の提供が課題となっています。加えて、脱炭素や省エネ、安心・安全な住まいへの関心が高まる社会背景からも、「家づくりの意義」や「快適な住環境の仕組み」を学ぶ機会は貴重です。

本企画は、こうした背景を踏まえ、単なる宿泊体験ではなく「住まいの学び場」として親子で体験できる特別なプログラムを設計。子どもたちの自由研究や、ものづくり・建築への興味の入り口として、社会的な意義を持つイベントです。

また、普段は見ることのない家の性能（断熱・気密・耐震など）や設計・施工の技術を体験することで、親子の会話や将来の夢に繋がることを目指しています。

■イベントの魅力

本イベントでは、低学年から高学年まで楽しみながら学べる多彩なプログラムをご用意。夏休みの自由研究にもぴったりの体験が詰まっています。

また、無料でモデルハウスに泊まれるだけでなく体験後、家族で千葉の自然豊かな観光スポット「マザー牧場」や「鋸山」などの観光・自然体験もできます。

<モデルハウス宿泊・千葉観光>

本物のモデルハウスに無料で宿泊できるまたとないチャンス！ホテル気分で快適な夜を過ごしながら、千葉の自然豊かな観光スポット「マザー牧場」や「鋸山」などの観光・自然体験も。家族みんなで遊びも学びも満喫できます。



<自由研究にも使える！多彩なプログラム>

●低学年向け：モデルハウス探検ミッション

「住宅性能コーナー」

→「地震の揺れをしらべる機械」で、揺れの大きさを予想し体験

「インテリアコーナー」

→足元にある床材を触って数え、いくつあるかチャレンジ など

●高学年向け：6つのテーマから住まいのいろいろ調べてみよう！

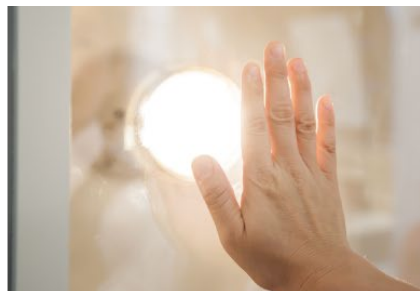
「昔の家と今の家、どこがちがうの？」

→断熱・気密・耐震など、現代の家がなぜ快適で安心なのかを探求

「夏の日ざしをさえぎるには、どんな窓がいいんだろう？」

→窓の種類や位置、日射遮蔽の工夫を実際の家で体感 など

親子で一緒に考え、学び、体験できる幅広いコンテンツで、家づくりへの理解を深めながら、将来の夢や仕事への関心を広げます。



■実施概要

■タイトル：夏休み限定！家族でモデルハウスに泊まろう！

■対象：小学生（保護者同伴）

■期間：2025 年 7 月 24 日(木)～8 月 31 日(日)

■対象モデルハウス：新昭和ハウジングスクエア内のモデルハウス

■特設サイト：<https://lp.with-e-home.com/lp/taikenshukuhaku>

■ウィザースホームについて

ウィザースホームは、1970 年に千葉県君津市で創業し、2×4・2×6 工法による住まいを手掛け、55 年余りとなる新昭和グループの注文住宅ブランドです。「With Earth～地球とともに～」がブランド名の由来で、「人をつくり、家をつくり、あるべき地球の未来をつくる」をミッションに、人だけでなく地球環境にもやさしい住まいづくりを推進。ブランド発足 20 周年を迎えた 2021 年 1 月には「いい家を、つくろう。」をスローガンに掲げ、地域に根差した活動を行っています。また、国連が提唱する SDGs に賛同し、6 つの「サステナブル宣言」を発表。さらに 2023 年には、地球環境と人にやさしい住まいの普及の推進を図るため「With Earth 宣言」を表明。ひとと、まちと、ほしに寄り添う事業を展開していきます。

【ウィザースホーム公式 HP】<https://with-e-home.com>

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

イノベーション推進部

TEL：043-209-6384 FAX：043-209-6385

